

古い江崎灯台の写真を探しています！

江崎灯台は、英国人技師ブラントンによって設計・建設され、明治4年（1871年）我が国で8番目に建設された石造りの洋式灯台で、建設当時の姿をそのまま残す現役灯台としては2番目に古く、歴史的・文化的にも価値ある建造物です。その江崎灯台は来年初点灯から150年の節目を迎えます。神戸海上保安部では江崎灯台150周年プレイベントとして、また、江崎灯台の長い歴史を少しでも残したいとの考えから江崎灯台が写っている写真を次のとおり募集します。
貴重な古い江崎灯台の写真を提供して頂ける方からの連絡をお待ちしております。

記

1 写された写真の条件

明治から昭和時代に撮影された写真（大きさ、白黒・カラーを問わず）

2 提供条件

- ・提供された写真を写真パネルとして江崎灯台の一般公開ほか海上保安庁が開催するイベント等において使用・展示することを了解いただける写真
- ・提供された写真を展示に際しては、提供者名（会社名）を明記します。
- ・提供された写真への謝礼はありません。（ボランティアでお願いします。）

3 募集期間

令和2年10月26日（月）から当分の間（令和3年4月頃まで）

4 連絡方法等

神戸海上保安部交通課 電話078-327-8835
（平日09時～17時）

へ連絡をお願いします。

写真の提供方法・提供条件等を相談させていただきます。

（参考）

（1）江崎灯台の要目

位置	北緯34-36-23	東経134-59-36
灯質	不動赤白互光	赤色5秒白色5秒
光度	白色 62,000カンデラ	赤色 24,000カンデラ
光達距離	白色 約34km	赤色 約30km
灯火の高さ	平均水面上	49m

（2）江崎灯台の場所



（3）現在の江崎灯台



例えば、こんな写真ありませんか？



現在の江崎灯台の周りには何もありません。



昔の江崎灯台の周りには色々な建物がありました。



無人化してから39年
求む！灯台と人が一緒に写った写真！



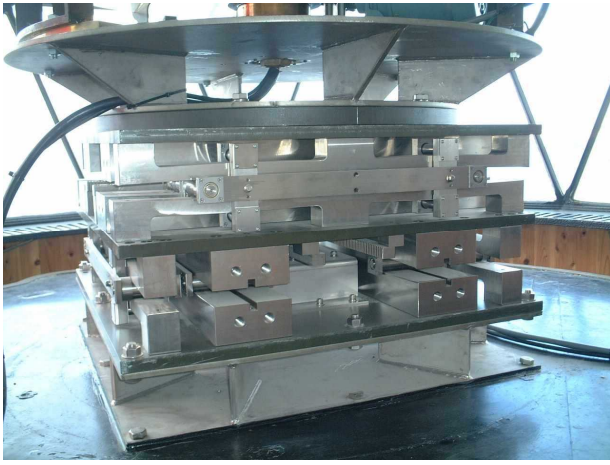
江崎灯台の壁には段差があります。



これは阪神淡路大震災の被災状況をメモリアルとして残したものです。



では、昔はどんな様子？
求む！被災前の写真！



被災の経験からレンズには耐震装置が設置されています。



明治時代から耐震装置が取り付けられていましたが、今では全体像が判りません。



求む！明治時代の耐震装置の写真！



日時計は昔から設置されていました。



今の日時計は平成21年に現在の位置に復元されたものです。



では、昔はどんな様子？
求む！日時計の写真！